

令和 8 年 1 月 30 日

浜松市産業部林業振興課 御中

静銀経営コンサルティング株式会社

天竜林業イノベーションスクール第 8 回 実施報告

1. 実施概要

日 時：令和 8 年 1 月 30 日（金）14:00～17:00

会 場：グランドホテル浜松 2 階

スクールカリキュラム：

内容	講師
天竜林業イノベーションスクールの振り返り	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹
主催者挨拶	浜松市長 中野 祐介
修了証書授与式	浜松市長 中野 祐介
スクール生による「天竜林業の将来像に向けた」アクションプラン発表	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹 スクール生一同
演題「地域林業振興に FSC 森林認証が貢献できること」	東京大学名誉教授 FSC ジャパン理事 白石 則彦 氏

2. 講演内容

(1) 天竜林業イノベーションスクールの振り返り

林業分野における「林業イノベーション」を加速させ、他地域に負けない「儲かる天竜林業」の実現を目指すことを目的として、天竜イノベーションスクール全 7 回開催してきた。

本スクールでは、天竜林業のあるべき姿を検討するとともに、参加者間で現状整理、課題抽出、解決策の検討を行うワークショップを実施し、林材業関係者が多数参画、人材育成、業務効率化・DX、地域連携、販売戦略など、多角的な視点から意見交換を行った。その結果、産地全体で目指す方向性が共有され、今後の取組に資する具体的な知見を得ることができたと述べた。



(2) 修了証書授与式



(2) スクール生による「天竜林業の将来像に向けた」アクションプラン発表

ワークショップでは、天竜林業の課題解決に向け、参加者を4つのグループに分け、「人材育成」「業務効率化・DX」「地域連携」「販売戦略」の観点から解決策の検討と発表を行った。

まず、人材育成のグループでは、多様な人材確保に向けた魅力発信のためのプロモーション施策が発表され、「天竜山グルメ」というキーワードを活用した広告展開やSNS発信が提案された。また、林業従事者が将来像を描けるよう、体系的なキャリアパスの作成が必要であるとの意見が示された。

業務効率化・DXのグループでは、DXを活用した生産性向上策として、サプライチェーン全体を可視化する統合システムの構築案が示された。加えて、現場の知恵や小さな工夫を共有・改善につなげるボトムアップ型の改善サイクルを整備する案も挙げられた。

地域連携のグループからは、川下事業者「天竜材コンシェルジュ」を育成し、川上と川下が直接情報をすり合わせる垂直的な連携体制の構築が提案された。また、「脱炭素・環境価値」の視点から天竜材をSDGsに資する資源として活用する取り組みも提案された。

販売戦略のグループでは、「数字で伝える」環境価値の可視化を進め、天竜材のCO₂固定量などをわかりやすく訴求する必要性が共有された。さらに、「天竜材・選べる『推し木』プロジェクト」として、大黒柱など住宅の象徴的な部材に天竜材を選べるオプションメニューを整備する案が提示された。

以上のとおり、参加者から多角的な視点で具体的な提案が示され、今後の天竜林業の発展に向けた重要な示唆が得られた。

(3) 「地域林業振興に FSC 森林認証が貢献できること」

FSC ジャパン理事の白石氏より FSC 認証を受けた天竜材は大きな強みであり、イノベーションの推進に資する価値がある。しかし、その利点に注目するだけでなく、林業が抱える環境・社会・経済の各リスクを常に念頭に置き、適切に備える姿勢が不可欠であると述べた。さらに、人材育成や明確な目標設定が持続的な林業経営の基盤となること、林業は総合的・多面的な分野であるため、さまざまな切り口から学び、真のプロフェッショナルを目指す姿勢が重要であることを示した。



以上